

阪神高速ビジョン2020
～道路、地域の^あす^す未来を^{ひら}拓く～

(概要版)

平成22年4月
阪神高速道路株式会社

1. はじめに(ビジョン策定にあたって)

～企業理念「先進の道路サービスへ」のさらなる具現化に向けて、
「将来の方向付け」を明確化～

- 民営化後、企業理念の具現化に向けて、着実なネットワーク整備や3つのアクションプログラム等により「安全・安心・快適なネットワーク」の提供等に積極的に取り組み
- 当社への期待と経営課題、今後の外部環境の変化等を踏まえ、持続発展可能な組織として「将来の方向付け」を明らかにするため、「ビジョン」を策定
- 当社の将来の方向付けとしてアピールすべきものを示し、その実現に向けた取り組み等に理解と協力を得ていきたい



2. 前提条件①

【当社をとりまく動向等】

○ 世界の潮流と日本の動向

- ・深刻な不況から持ち直し傾向ながら、雇用悪化、デフレ影響等の懸念
- ・人口減少、少子高齢化
- ・アジアの重要性の高まり
- ・日本の成長戦略
 - グリーンイノベーションによる環境・エネルギー大国戦略
 - アジア経済戦略
 - 観光立国・地域活性化戦略

○ 関西の動向

- ・関西の将来展望
 - 関西ビジョン2020
 - 近畿圏広域地方計画

○ 道路整備上配慮すべき外部環境の変化

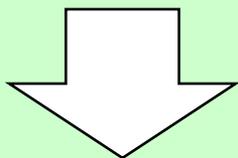
- ・道路の全国交通需要推計の下方修正



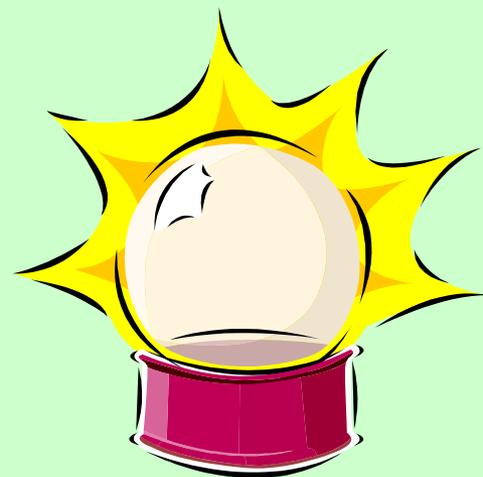
2. 前提条件②

【当社に期待される役割等】

関西の将来展望
お客さまの声



- ・真に必要な道路ネットワークの早期整備
- ・お客さまのニーズを反映した道路料金の実現
- ・安全、安心、快適な道路の運営管理
- ・環境に配慮した施策の展開
- ・積極的な社会貢献の展開 等

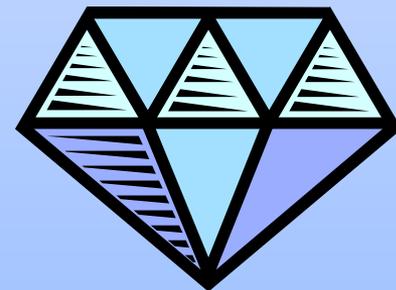


3. 阪神高速ビジョン① ありたい姿

阪神高速は、

- 高コストパフォーマンスで安全・安心・快適を極め、より多くのお客さまに利用いただける高度に発達した高速道路ネットワークサービスの提供
- 保有する資産、技術、ノウハウ等の経営資源を最大限に、かつ有効に活用した、競争力のある関連事業・新規事業の関西、全国、世界に向けた展開
- 地域と協働した活動等による魅力的なまちづくり支援、経営資源を活用した国際貢献や地球環境共生・貢献企業としての取り組み等の実施

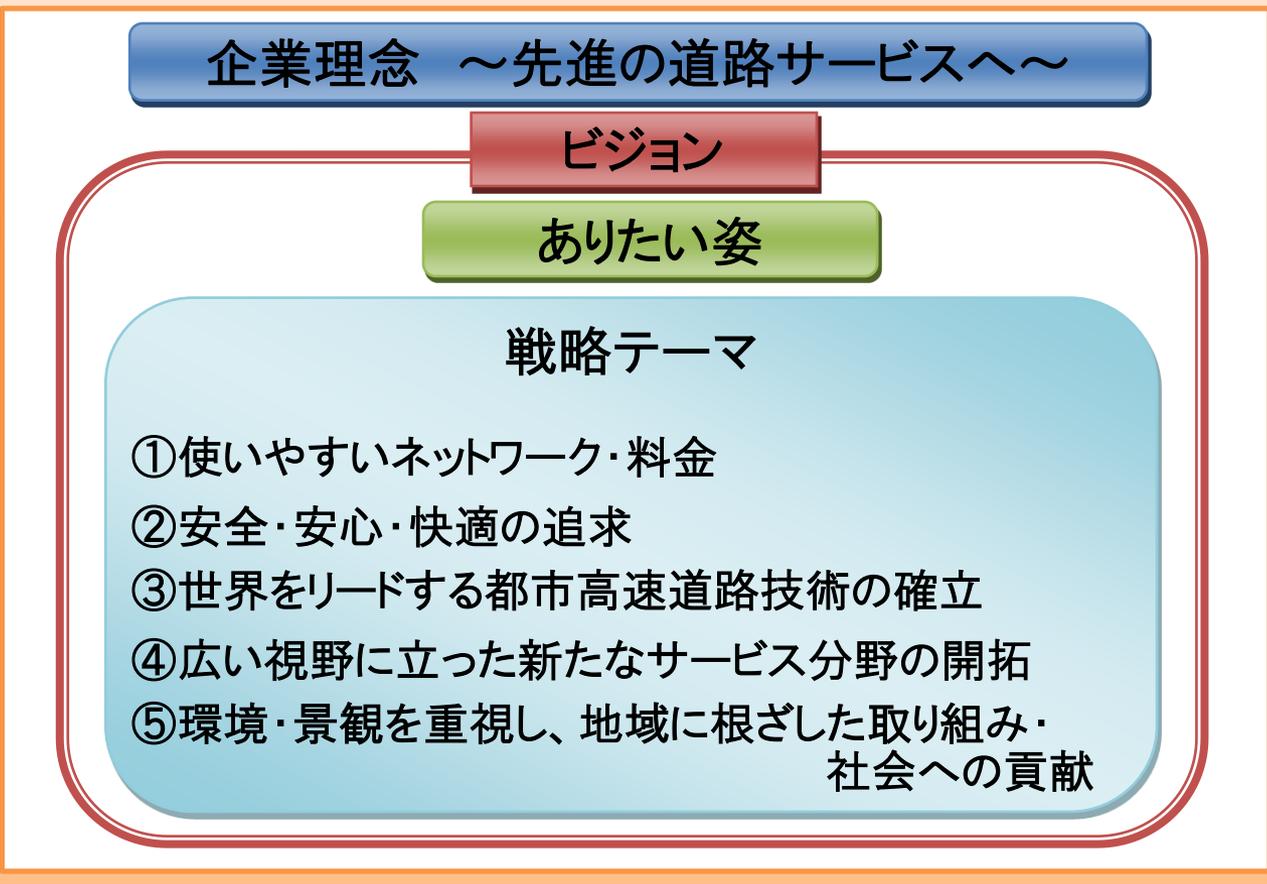
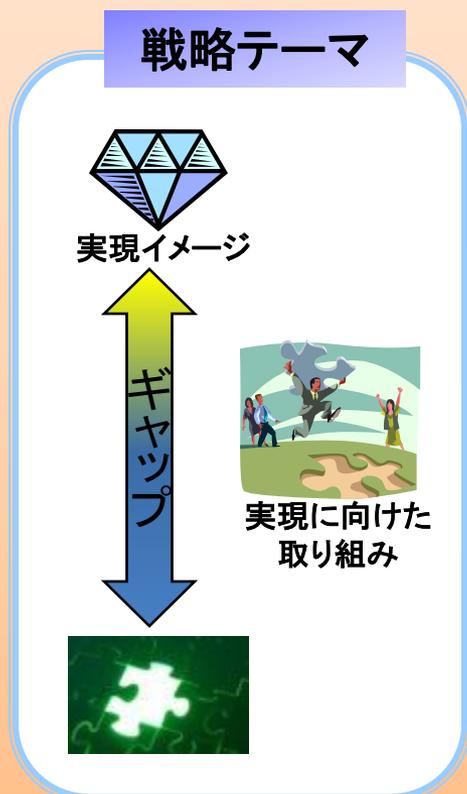
により、お客さま、国・地方自治体、経済界、社員を含めたステークホルダーの期待に応え、環境先進地域として世界をリードする関西の活性化に大きく貢献している。



3. 阪神高速ビジョン②

戦略テーマの設定

- 当社の「ありたい姿」実現のため、5つの各テーマにおける「概ね10年後の実現イメージ」を創造
- 「実現イメージ」と「現状」のギャップを「課題」と捉え、その課題を埋める施策・取り組みを抽出
- 戦略テーマは、「実現イメージ」、「その実現に向けた取り組み」から構成



4.1 より利用しやすく①

～使いやすいネットワーク・料金～

★実現イメージ★

- ミッシングリンクの解消とともに、バイエリアと内陸部の連絡が飛躍的にスムーズになりつつある。これらにより関西全体のポテンシャルが向上し、関西のにぎわいに貢献している。
- 高速道路の渋滞がほぼ解消、都市環境の改善に寄与している。
- バランスのとれた利用しやすい料金制や弾力的な料金設定により、ルート選択の自由度が高まっている。



4.1 より利用しやすく②

～使いやすいネットワーク・料金～

★施策・取り組み★ ー将来ネットワークー

(1) ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備

現在事業中の路線(大和川線、淀川左岸線、神戸山手線、油小路線(斜久世橋区間)、守口JCT、松原JCT)に加え、以下の路線等についても整備に参画

- 大阪都市再生環状道路
(淀川左岸線延伸部)
- ラダーネットワーク
(大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線)
- 渋滞緩和・利便性向上のためのJCT等
(信濃橋渡り線)



(2) ネットワークの更なる強化の検討

JCT整備や阪神間の南北軸などネットワーク機能のあり方について、ネットワーク・ビジョンや事業スキーム等に留意しつつ検討

4. 1 より利用しやすく③

～使いやすいネットワーク・料金～

★施策・取り組み★ ー将来の料金体系ー

(1) バランスのとれた利用しやすい料金制

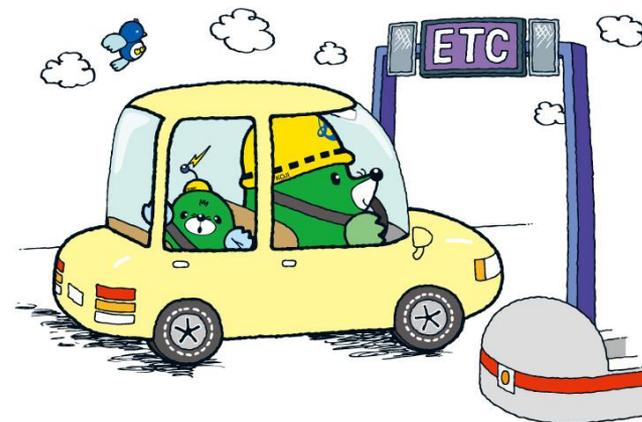
- ・異なる料金体系・料金水準の混在等による問題解消
- ・利用距離や地域間の連続性を考慮し、バランスのとれた料金体系を実現

(2) 弾力的な料金設定

- ・渋滞対策、沿道環境改善、長距離利用の負担増抑制、
高速道路と平面道路の適切な交通分担、物流効率化や観光振興などの観点
- ・迅速かつ柔軟な料金決定プロセスの工夫

(3) 将来の都市高速道路機能維持のあり方

- ・長期にわたる都市高速道路機能維持のあり方を検討



4.2 走りやすい道路の実現①

～安全・安心・快適の追求～

★実現イメージ★

- 高齢者や女性を含む多くのお客さまから、疲労感や負担感を感じさせない、まさに先進の“走りやすい道路”と好評を得ている。
- 高架道路の継ぎ目を解消する技術を確立、走行性を改善すると同時に、振動や騒音をはじめとする環境改善に大きく寄与。
- パーキングエリアサービスのハード・ソフト両面での充実により、阪神高速における“きれい・あんしん”、“やすらぎ”と“ぬくもり”の空間を提供している。



4.2 走りやすい道路の実現②

～安全・安心・快適の追求～

★施策・取り組み★

(1) 最新のITS技術等を活用した安全・安心・快適の追求

- ・危険事象の注意喚起、所要時間、渋滞など精度の高いリアルタイムの情報提供
- ・高齢ドライバーや女性ドライバーの特性を考慮した効果的な情報提供、逆走防止等の対策促進
- ・交通状況に連動した料金を設定する制度・システム
- ・新しい速度制御技術(シーケンスデザイン等)を用いた交通運用・管制 など



(2) ジョイントレス阪神高速

- ・ジョイントレスに関する技術(床版連結・埋設ジョイント等)の確立 など

(3) 安らぎとより便利さを提供するPA及び路外パーキング

- ・有人PAのリニューアル、お客さまの疲れを癒す各種施策
- ・地域との共生を目指す各種取り組み
- ・路外パーキングの整備 など

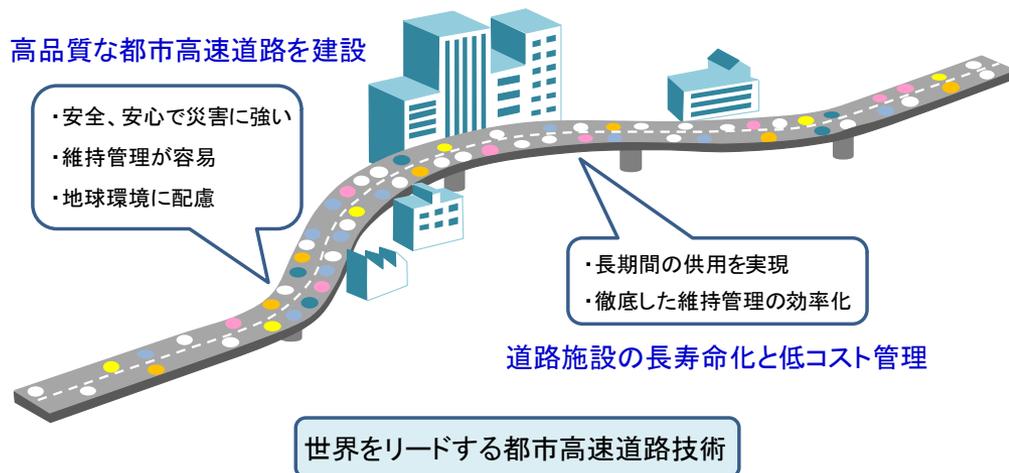


4.3 プロの仕事の徹底①

～世界をリードする都市高速道路技術の確立～

★実現イメージ★

- 安全・安心で災害に強く、維持管理性に優れ、地球環境に配慮した都市高速道路を建設する総合的な技術力を保持している。
- 道路施設の長寿命化技術を導入して超長期を視野に入れた供用・管理を目指すとともに、継続的改善が可能な維持管理マネジメントサイクルを活用することで低コスト管理が実現している。



4.3 プロの仕事の徹底②

～世界をリードする都市高速道路技術の確立～

【施策・取り組み】

(1) 経験を活かした新規路線建設

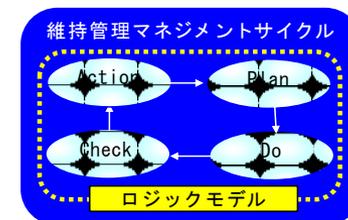
- ・維持管理性(軽量耐久性床版、高耐久舗装材料 など)
- ・地球環境配慮(道路照明用LED、トンネル換気機器の制御システム、トンネル壁面緑化 など)
- ・最新技術(短期施工可能な海中基礎形式、性能照査型設計活荷重 など)

(2) 超長期を視野に入れた供用を実現

- ・鋼橋防食・疲労対策(狭隘部ケレン技術、疲労亀裂検出・補修・予防保全技術 など)
- ・コンクリート構造長寿命化(ASR劣化構造物の安全性評価手法、塩害・中性化対策 など)
- ・舗装高度化(高耐久性舗装材料・施工法 など)

(3) 徹底した維持管理の効率化

- ・維持管理マネジメント支援ツールの高度化
(保全情報管理システム、H-BMS、ロジックモデル)

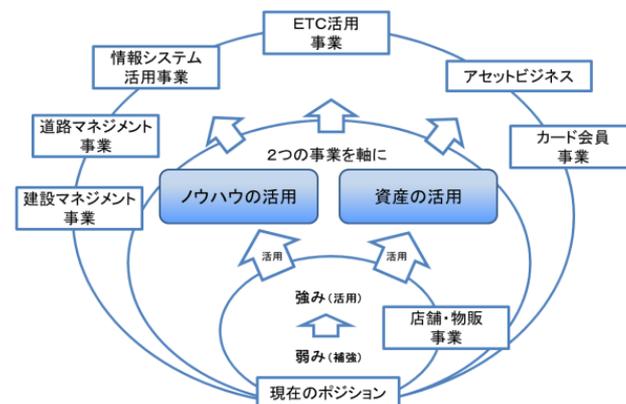


4.4 関連事業・新規事業の展開①

～広い視野に立った新たなサービス分野の開拓～

★実現イメージ★

- 用地補償から道路建設に至る建設マネジメント事業や阪神高速に接続している道路の管理を受託するなど、ノウハウを活かした道路マネジメント会社としての地位を確立している。
- 保有資産やシステムを活用した情報システム活用事業、ETC活用事業やアセットビジネス等を展開。特に、ETC活用事業では、民間施設等でのETCシステム活用が進み、そのプラットフォーム構築により一元的なサービス提供を行っている。
- グループ全体の関連事業・新規事業による年間売上“200億円”を目指して、これら事業にチャレンジしている。



4.4 関連事業・新規事業③

～広い視野に立った新たなサービス分野の開拓～

★施策・取り組み★

(1) ノウハウの活用

- ・建設マネジメント事業(用地補償・大規模工事支援、CM事業 等)
- ・道路マネジメント事業(阪神高速道路と連結している有料道路の一体管理)

(2) 資産の活用

- ・不動産等の活用
(既存保有資産の有効活用、まちづくり開発事業等の展開、情報システムの活用)
- ・ETC活用事業(まちかどeサービス)
(路外パーキング、ETC車両認証を用いた幅広い分野で事業サポート 等)
- ・カード会員事業(スルーウェイカード)
(阪神高速利用のポイント還元、役立つ情報提供 等)



4.5 環境にやさしく、地域・社会とともに①

～環境・景観を重視し、地域に根差した取組み、社会への貢献～
(総合的な環境に優しい道へ)

★実現イメージ★

- “総合的な環境に優しい道”を目指して、先進技術や新たな制度導入とともに、ミッシングリンクの解消により、沿道環境への負荷を低減している。
- 景観形成を通じて、快適で美しいまちづくりに貢献している。
- さらに、地球環境負荷低減に向けた技術の導入などに取組んでいる。



4. 5 環境にやさしく、地域・社会とともに②

～環境・景観を重視し、地域に根差した取組み、社会への貢献～
(総合的な環境に優しい道へ)

★施策・取組み★

環境配慮行動を経営に関する最重要な事項の一つに位置付け

(1) 沿道環境への負荷低減

- ・環境ロードプライシング等の取組みを継続
- ・ジョイントレス化等の構造物対策

(2) 沿道環境との調和

- ・ライトアップや構造物の修景

(3) 地球環境への負荷低減

- ・廃棄物の低減、建設リサイクルの遂行、新技術の導入
- ・一層の省資源・省エネルギー
- ・次世代自動車社会構築に資するインフラ整備



4.5 環境にやさしく、地域・社会とともに③

～環境・景観を重視し、地域に根差した取組み、社会への貢献～
(地域や社会とのかかわり)

★実現イメージ★

- 積極的なコミュニケーションを通じて、地方自治体や地域の企業・団体、大学等の研究機関、地域のみなさまと協働した取組みを行い、関西のくらしや経済の活性化に貢献している。
- 技術力やノウハウなどを活かして、国内外の技術協力及び被災地支援などで社会貢献に取り組んでいる。



4.5 環境にやさしく、地域・社会とともに④

～環境・景観を重視し、地域に根差した取組み、社会への貢献～
(地域や社会とのかかわり)

★施策・取組み★

(1) 関西活性化に貢献

- ・ 他の交通インフラ事業者と協働して、交通・物流基盤の有効活用及び相互連携の強化
- ・ 物流効率化や観光振興等に資する取組みの展開
- ・ 地方自治体、経済団体等の活動への参画、大学等研究機関との連携



(2) 地域の皆さまとともに

- ・ 出前講座やLoopA等を活用した双方向コミュニケーション
- ・ 道路空間を有効活用し地域活性化や賑わい創造



(3) 技術力やノウハウ等を活かした貢献

- ・ 橋梁メンテナンスや道路マネジメントで国内外に技術協力 等



5. ビジョンの実現に向けて

- 「ありたい姿」の実現、「戦略テーマ」における施策・取り組みの実行を支えるためには、
 - ・ 阪神高速グループが一体となって経営システム等強化
 - ・ ステークホルダーと協調した事業スキームの整備の両面からのアプローチが必要。
- 『阪神高速ビジョン』の実現に向けて、グループ一丸となってビジョンに掲げた施策・取り組みを真摯に、そして積極的に実行に移していきます。

